

組合取り組み事例紹介



令和3年度取引力強化推進事業実施組合より 「コロナ禍における通信販売チラシを用いた共同販売事業の活性化事業」

実施組合 紀宝ウミガメ物産振興協同組合

事業概要 コロナ禍における共同販売事業の不振の中、ネット販売よりも比較的高齢者層に受け入れられやすい、FAXによる組合員の取扱商品の注文票を掲載した通信販売チラシを作成し、近隣の観光案内施設や文化施設に備え置き広く周知して共同販売事業の活性化を図りました。

チラシはA4サイズ・両面2ページ、組合員の取り扱うスイーツギフトセット、ミカン、寿司下駄(木製品)の3種類を掲載するとともに、今後のために「道の駅紀宝町ウミガメ公園」を紹介するHPアドレスやSNSも記載し、裏面にはFAX注文票を掲載しました。

チラシはA4サイズ・両面2ページ、組合員の取り扱うスイーツギフトセット、ミカン、寿司下駄(木製品)の3種類を掲載するとともに、今後のために「道の駅紀宝町ウミガメ公園」を紹介するHPアドレスやSNSも記載し、裏面にはFAX注文票を掲載しました。

成果等 組合員においては、今回のチラシに組合員が現在取り扱っている商品の中から一番PRしたい商品を掲載したことから、次回に向けても新たな商品を開発していきたいという意欲が増しました。

組合においては、これまでは、組合や「道の駅 紀宝町ウミガメ公園」をPRするHPやSNSを主力に、比較的フットワークの軽い若年層をターゲットに販促やネット販売に力を入れてきましたが、昔ながらの地味なチラシによる販促や通信販売も特に高齢者層には必要なことであると気づききっかけとなりました。

コロナ禍に対する懸念は払拭しきれないものの、今回のチラシを初め、第2弾、第3弾のチラシに掲載する商品の種類が増えることで、通信販売のみならず、組合の共同販売店舗での売上高の相乗効果と、組合の共同販売事業の活性化が図れるものと期待しています。



HP



Instagram

紀宝ウミガメ物産振興協同組合
TEL:0735-33-0300

全国の先進組合を紹介しします



神奈川県パン協同組合連合会（神奈川県）

● 組合が一丸となり業務を改革！強い推進力で受注作業のDXを実現

■背景・目的

従来、学校給食パンの発注にはFAXが用いられ、受注する所属員の各工場では日々送られてくる注文書を手作業で処理していました。学校のクラス替えや出席者数などにより発注の内容は都度変化し、作業も膨大なため細心の注意を払ってもミスが生じてしまい、こうした事務負担の解消は会員組合全体にとって共通の課題でした。この課題を解決すべく、連合会傘下の組合が一丸となって共通の受注管理システムを導入し、業務改革に取り組みました。

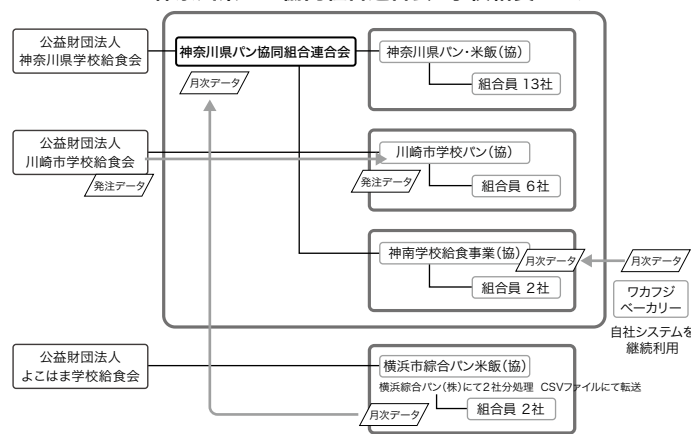
■取組みの手法と内容

システム導入に先立ち、先行して受注管理システムを活用している滋賀県学校給食協同組合を視察し、発注内容が一気通貫で業務に落とし込まれる仕組みを目の当たりにして、導入に向けた取り組みをスタートさせました。

導入の初期では所属員のうち中心となる3工場が主導して、各工場の業務内容を分析し、受注システムの素案を作り、システム構築の作業に入りました。並行して自治体へ導入の経緯や発注者側にもメリットがあることを粘り強く説明し、「モデル自治体」として一部自治体から協力を得ながらテストと改良を繰り返した。2021年1月には組合・自治体全体に向けた説明会を実施、同年4月より本格運用がスタートしました。

システム導入に際し特に重要となったのは、会員組合内の合意形成でした。従来の業務手順を変革することは、所属員にとっても戸惑いがないわけではありませんでしたが、膨大な事務負担の解消という共通の問題意識を持っていたことから、最終的には所属員の全工場が導入を決意しました。

神奈川県パン協同組合連合会 学校給食システム



連合会内の意識が一体となったことは、需要者である各自治体に理解を得るにあたって、大きな力となりました。全工場が例外なく本システムによる受注に取り組むことで、神奈川県下統一でシステムを導入する必要性を訴えることができ、自治体側の合意を得ることにつながっています。現在では自治体のうち約75%が本システムによる発注を行うようになっており、デジタルトランスフォーメーション(DX)が実現しつつあります。

■成果とその要因

導入したシステムは日々の運用を通じて改善点がフィードバックされており、直近でも2021年9月に機能改善が行われました。単にシステムを更新するだけでなく、自治体に改善内容の説明を行うなど、フォローアップも実施しており、将来的には全自治体のシステム導入を目指し、継続してDXに取り組んでいます。